

株価の回復局面入りが期待される米AI半導体株

AI投資の採算性への疑念が緩和。AI半導体株には底打ちのサイン

2026年8月5日

お伝えしたいポイント

- ・ S&P500が2カ月ぶりに最高値更新。AI半導体関連株の回復が要因の一つに。
- ・ マイクロソフトの四半期決算を機に、ビッグテックのAI投資の採算性や持続性への疑念が緩和。AI半導体の売り手である半導体関連株は急反発している。
- ・ テクニカル面と投資指標面でもAI半導体関連株には底打ちのサインが点灯している。

AI半導体株の株価が急反発

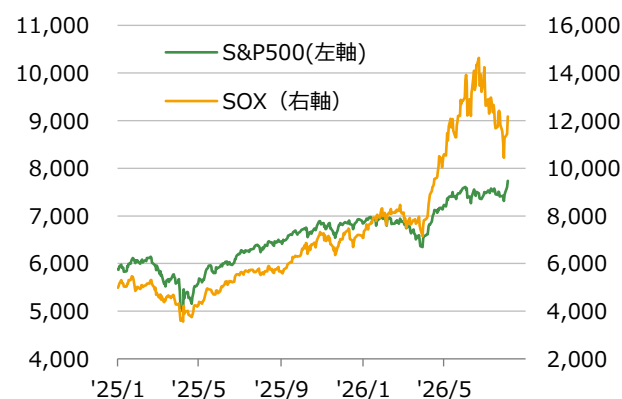
8月4日、S&P500は約2カ月ぶりに史上最高値を更新しましたが、その要因の一つとなったのがAI半導体関連株の回復です。6月22日をピークに調整が続き、7月下旬に弱気相場入りしたSOXですが、7月30日に急反発し、以降4日続伸となっています。

きっかけはマイクロソフト決算

きっかけとなったのが、その前日に発表されたマイクロソフトの2026年4-6月期決算でした。同決算ではAIビジネスを担うクラウド事業が予想を上回る増収率を示し、なおかつフリーキャッシュフローの黒字を維持しました。これがAI半導体関連株の下落の背景にあった、ビッグテックによる巨額AI投資（≒半導体企業からのGPU〔画像処理半導体〕やHBM〔広域帯メモリー〕等の大量購入）の採算性や持続性への疑念を和らげることとなりました。

翌31日のアマゾンの四半期決算でも、クラウド事業が予想を上回る増収率を示し、フリーキャッシュフローは前四半期に比べ赤字が縮小しました。これらビッグテック2社の決算は2社のみならず、AI半導体関連株の反発を促すことになりました。

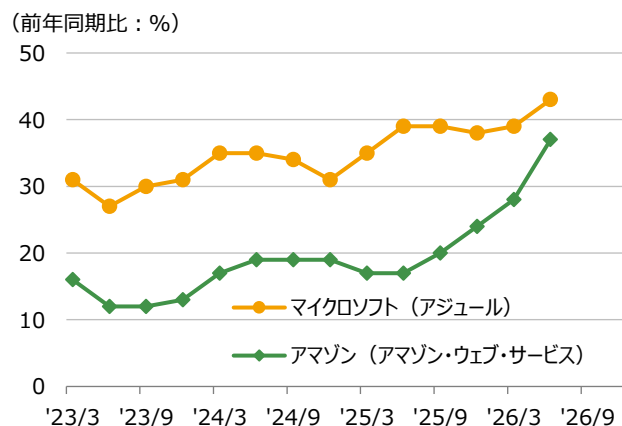
図1 S&P500とSOX



※直近は26年8月4日

(出所) ブルームバーグより大和アセット作成

図2 ビッグテック2社のクラウド事業増収率



※四半期ベース、直近は26年4-6月期

(出所) ブルームバーグより大和アセット作成

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

SOXにテクニカル面で底打ちのサイン

加えてAI半導体関連株には底打ちのサインが表れています。一つはテクニカル面です。SOXは7月27日に25日移動平均線から▲8%乖離の水準を割り込みました。一般的に同水準は株価急落時における下値のメドとなっており、仮にこの水準を割り込んだとしても、その後、短期でV字回復するケース（24年8月の雇用統計ショックや25年4月のトランプ関税ショック）が多く見られました。

投資指標面でも底打ちのサイン

投資指標面でも底打ちのサインが出ています。7月29日、SOXの12カ月先予想PERは、S&P500の同PERを下回りました。同様のケースはSOXの12カ月先予想EPSが明確な拡大期に入った23年半ば以降、2回（25年4月のトランプ関税ショック、26年3月の米イラン戦争開戦当初）しかありません。グロース株の典型であるSOXのPERがS&P500全体のPERを下回るのはさすがに「売られ過ぎ」といえ、いずれのケースも比較的短期で両者のPERは再逆転しています。こうした2つのサインから、30日以降のSOXの急反発は、AI半導体関連株回復の第一歩の可能性があります。

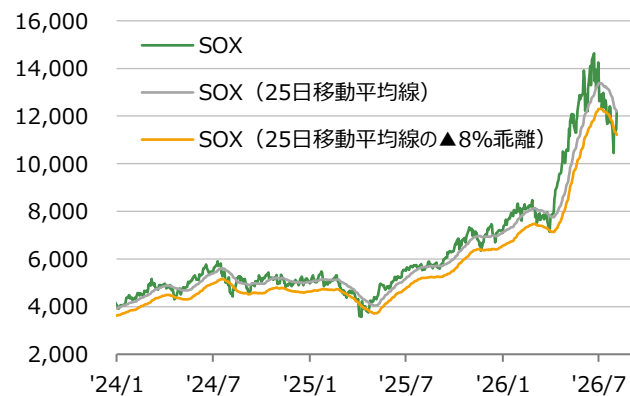
期待されるAI半導体の騰勢回復

無論、これらはあくまで株価底打ちのサインであり、SOXが短期間で再び史上最高値を更新することを保証するわけではありません。しかし、ビッグテックのクラウド事業拡大を通じ、AIビジネスとAI投資の採算性改善が示唆されたことで、ビッグテックのAI投資拡大＝AI半導体市場の成長が今後も続くという見方が、株式市場で再び受け入れられたことは、AI半導体関連株の騰勢回復を後押しすると思われます。

今後のAI半導体関連株の行方を占う材料としては、足元で上昇が一服した金利や中国半導体企業の動向、8月26日予定のエヌビディア四半期決算等が注目されます。

（執筆：調査部 高橋卓也）

図3 SOXと25日移動平均線・同▲8%乖離



※直近は26年8月4日

（出所）ブルームバーグより大和アセット作成

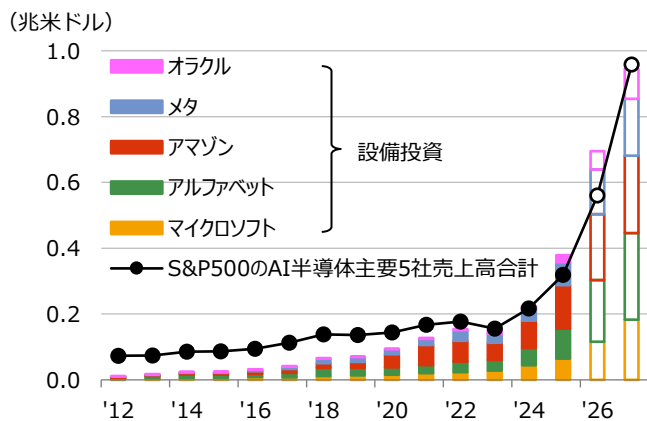
図4 S&P500とSOXの12カ月先予想PER



※直近は26年8月4日

（出所）ブルームバーグより大和アセット作成

図5 ビッグテック5社設備投資とAI半導体5社売上高



※26年、27年はブルームバーグ予想（26年8月4日時点）

※AI半導体5社＝エヌビディア、AMD、ブロードコム、マイクロン・テクノロジー、インテル

（出所）ブルームバーグ、WSTSより大和アセット作成

ファンドに関するお電話でのお問い合わせ

☎0120-106212

(受付時間：営業日 9：00～17：00)

※お客様のお取引状況・その他口座内容に関するご照会はお取引先の銀行、証券会社等の金融機関にお問い合わせください。

URL <https://www.daiwa-am.co.jp/>

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。